

FTC チェンジメーカー教育プログラム STEP-1

社会問題を学ぶためのアクティビティ教材

テーマ: 児童労働

FTC チェンジメーカー教育プログラム

グローバルシティズンシップのためのサービスラーニングプログラム へようこそ！

この度は、フリー・ザ・チルドレンが提供する「FTC チェンジメーカー教育プログラム」にご登録、ご活用くださり、ありがとうございます。子どもや若者が社会問題に取り組むための一歩をふみだせるよう彼らの力を引き出し、エンパワーするというミッションを皆さまとともに共有できることを、大変嬉しく思います。

「FTC チェンジメーカー教育プログラム」は、カナダで開発された「WE Schools」に基づき、これまでの日本での活動経験や他国での実践事例を加味して、グローバル・シティズンシップ、子どもの社会参画、アクティブ・ラーニングといった要素を取り入れた日本向けの新しい教育プログラムです。「FTC チェンジメーカー教育プログラム」の基となっている「WE Schools」はサービス・ラーニング及び SEL (Social Emotional Learning の略。社会性を育み感情のコントロールを学ぶ教育手法) を土台に開発されたもので、現在カナダ、アメリカ、イギリスなどの学校 18,000 校以上に導入され、教育現場で取り組まれています。

FTC チェンジメーカー教育プログラムの体験型サービスラーニング・プログラムを通して、子どもや若者は、他者や自身の声に耳を傾けながら、地域および世界の問題に取り組む力を育てていくようデザインされています。子どもや若者の力を引き出しながら彼らに寄り添う先生がたをはじめ指導者のみなさまとともに、持続可能なより良い世界の実現へと歩んでいけることを楽しみにしています。

重ねて、FTC チェンジメーカー教育プログラムへのご参加くださる指導者のみなさまのお働きに心より敬意を表します。また、本教材開発にご支援くださった「大東建託グループみらい基金」様に心からの感謝を申し上げます。

Together, WE can change the World!

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
FTC チェンジメーカー教育プログラム チーム一同

目次

概要	3
児童労働について考えよう (国際問題: 児童労働編)	3
児童労働について学び、考えるアクティビティ 案	4
すすめ方 (45 分～)	5
もっと学ぼう! 情報リスト (有料教材あり)	6
どんな 1 日をすごしたかな	7
児童労働を考える資料	9
児童労働ってなに?	9
どんな仕事をしているの?	10
児童労働ってわたしたちとどう関係しているの?	10
なぜ、児童労働はあるの?	11
なぜ、児童労働はいけないの?	12
クレイグ物語 (フリー・ザ・チルドレンを 12 歳で設立したカナダの少年)	14
もっと学ぼう! 情報リスト	15

概要

「社会問題を学ぶためのヒント・資料集」は、FTC チェンジメーカー教育プログラム「WE Schools」に登録された学校や青少年グループの指導者の立場の方々が、サービスラーニングを実践する際の、ステップ1「取り組みたい問題を決めて、調べよう」をすすめるのにご活用いただける資料です。

児童・生徒など学習者が、地域社会（ローカル）や地球規模（グローバル）の課題について知り、それらの課題と自分たちの生活がどう結びついているのかについて理解を深め、自分たちに何ができるのかを考えるよう促すためのヒントが詰まっていますので、どうぞご活用ください。

児童労働について考えよう（国際問題：児童労働編）

児童労働とフリー・ザ・チルドレン

児童労働は、フリー・ザ・チルドレンが創設されたきっかけになった国際問題で、
団体としてこの問題に25年以上取り組んでいます。

団体活動初期1995年当時、児童労働は世界に6人にひとりの子どもに相当する
2億4600万人いるとILO（国際労働機関）から発表されていました。

しかし、最新の報告によると、児童労働従事者数は、1億6,000万人（10人にひとりの子ども）だと言われています。様々なセクターの取り組みや一人ひとりが児童労働廃絶に向けて動いたことで、児童労働者数は1995年に比べると減少しました。

しかし、いまだに10人にひとりの子どもが児童労働に従事しているという現実があり、
これを見過ごすわけにはいきません。特に、2020年の最新の推計では
残念ながら、20年ぶりに児童労働者数は減少傾向から増加に転じてしまいました。

新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大し
多くの貧困家庭で親の収入が減少したことで、今後さらに児童労働者数が増えることが危惧されています。

この「児童労働」の問題を学ぶ教材を通じて、学習者が児童労働の現状をまずは理解し、
児童労働がどう私たちの生活と結びついているのかを知り、
どうしたら学習者である子どもや若者が児童労働を終わらせることができるのかを考え、
なんらかのアクションをおこせるようになることを期待しています。

児童労働について学び、考えるアクティビティ 案

アクティビティ概要

ねらい

- ① 学習者が児童労働者の状況や、児童労働が与える子どもへの影響について理解を深める。
- ② 学習者が児童労働と自分たちの生活との関係性を見つめ学ぶ。
- ③ 学習者が児童労働から子どもが抜け出すためには、自分には何ができるかを考え、そのための行動を起こせるよう素地を養う。

授業方法

ワークショップ学習形式(アクティブラーニング)

対象学習者

小学校4年生以上

所要時間

45分～

準備するもの

- ① 児童労働を考える資料の印刷(P7 ワークシート)
 - ② 児童労働を考える資料(P8～13 印刷して配布または、投影して使用可)
 - ③ 世界地図(あれば)
 - ④ 投影・音響機材(資料や動画を使用する場合)
- ※資料や動画資料は、必要に応じてご活用ください。



おすすめ方のヒント



「FTC チェンジメーカー教育プログラム」導入のところにあるように、ある特定の学習者のみが意見を述べたり、学習者が意見を発言しにくかったりする環境をつくらないために、アクティビティを始める前に、「セーフスペース」(自分が安心して意見をいられる空間とは)のワークショップを実施することをおススメします。ワークショップを通じて、意見には違いがあってもよいことや、それぞれの意見を尊重する大切さを学習者自身が感じ、「セーフスペース」を確認することで、どの学習者も安心して発言しやすい環境づくりをめざします。

すすめ方 (45 分～)

時間	学習内容	使用する資料・準備など
10 分～	1. 導入(つかみの質問をする) ①児童労働者の暮らしとの違いを見つめるため、質問を投げかける。 例:「みなさんは、昨日一日どのように過ごしましたか?朝起きてから夜寝るまで何をしたか思い出してシートに書いてみましょう。」 (平日の平均的な一日を思い出そう伝える。) ②どんな一日だったか、何人かに発表してもらい、出された意見を黒板に書き出すなど、共有する。 ③児童労働者の 1 日の過ごし方を創造する。 例:「世界には、学校や部活や習い事やテレビやインターネットのために時間を使わずに、過酷な環境で働いている子どもたちがいます。働く子どもたちは、どんな一日を過ごしているのでしょうか。」	①P7 ワークシートを各学習者に印刷し配布
25 分～	2. 児童労働について知識を深める ④コーヒー農園ではたらくサントスくんの一日を紹介 ⑤ ②で出された「ある 1 日」と、サントスくんの 1 日とを比較する。 ⑥生活の違いについて気づいたこと、感じたことを投げかける。 例:「もし、自分がサントスくんだったら、毎日の生活についてどう思うかな?」 ⑦児童労働の定義について資料を使いながら説明する。 ※このとき、時間があれば児童労働の映像を用いると良い。(FTCJ 映像チャンネル「WE Channel」にあるインド、フィリピン、モンゴルの働く子どもの動画リストから流す、など) ※先進国(高所得国)でも 200 万人(世界の児童労働者数の 1.2%)の子どもが児童労働に従事している現実にも留意できたら触れる。	④資料 P8 サントスくんの一日を配布、または投影 ⑦資料 P9～を配布、または投影 ・映像 https://www.youtube.com/playlist?list=PLCPvwVZQ-4mO7WvWqiIbQAq50mllcgG19
10 分～	3. わたしたちにできること ⑧12歳で立ち上がったクレイグ物語を紹介する。 例:「世界には、過酷な環境で働く子どもを助けようと立ちあがった子どもがいます。子どもでも、児童労働の問題を解決するためにできることがあると、その子どもは言います。立ち上がった子どもは、どんなことをしたのか、なぜ、立ち上がったのかを見ていきましょう。」 ⇒子どもであっても、「変化を起こす力」があることを伝える。 ⑨児童労働から子どもを解放するために、わたしたちにできることを考えてみよう⇒ストップ児童労働キャンペーン http://cl-net.org/ ⇒WE Love Fair Festival(賢い消費者になろう)キャンペーン https://ftcj.org/we-movement/weactioncampaigns/welovefairfestival	⑧資料 P14を配布、または投影 ※「クレイグ物語」の動画: https://www.youtube.com/watch?v=BDcJH7M5nqM ※FTCJ ウェブサイト: 創設者クレイグについて https://ftcj.org/about-us

	児童労働をなくすことはできます!でも、そのためには、子どもでも、おとなでも、児童労働のことを知り、できることからなんらかのアクションをとることが大切です。そのために、どんなことができるかを考えていきましょう。	⑨ WE Love Fair Festival (賢い消費者になろう) キャンペーンの資料参照
--	--	---

ストップ児童労働キャンペーン

「児童労働にレッドカード!」と、児童労働に反対の意思表示を真やSNSで発信したり、署名活動等を行うキャンペーン。6月12日の児童労働反対世界デーに合わせて6月頃に毎年実施されています。

詳細:<http://cl-net.org/>



WE Love Fair Festival

賢い消費者になろうキャンペーン。文化祭やイベントなどで児童労働によってつくられていない商品、フェアトレード、エシカルな商品を販売するのもアクションの一つ。

<https://ftcj.org/we-movement/weactioncampaigns/welovefairfestival>



もっと学ぼう!情報リスト(有料教材あり)

ウェブサイト

- ・フリー・ザ・チルドレン・ジャパン ウェブサイト: <https://ftcj.org>
- ・ILO(国際労働機関)の「児童労働に関するデータ」:
https://www.ilo.org/ipee/Informationresources/WCMS_797515/lang--ja/index.htm
(2021年6月に発表されたレポート/英語)
- ・国際連合広報センター(SDGsについて): <http://www.unic.or.jp/>
- ・児童労働ネットワーク: <http://cl-net.org/>
- ・ACE(児童労働問題に取り組むNGO): <http://acejapan.org/childlabour/entrance>

動画

- ・フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのYoutube Channel
<https://www.youtube.com/user/FTCJapan>
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLCPvWVZQ-4mO7WvWqiIbQAq50mllcgG19>



児童労働に関するおすすめ教材

<https://ftcj.org/we-movement/texts>

児童労働シミュレーションカードゲーム / 児童労働脱出ゲーム 等



どんな 1 日をすごしたかな

▼ある日のわたしの 1 日をかいてみよう

時間	やったこと

事例「サントス君 11 歳の 1 日」

実際に働く子どもたちは、どんな生活をしているの？を知るために、コーヒー畑で働くサントス君を事例に、児童労働者の「一日」を紹介します。



サントス君 (11 歳)
出身国: アフリカ
働く理由: 家計を助けるため

5:00 起床。コーヒー農園に働きに行く (徒歩)

子どもは正式に雇われているのではなく、親が働く農園で手伝いで働いているケースが多い



まだあたりは暗い。
近所の子どもと一緒に農園へ。
友達としゃべれる楽しい時間だけど、眠い。

7:00 農園で働く人たちの朝食の準備、水汲み、朝食、後かたづけ。



水のある場所まで汲みに行く。
水はとても重く子どもの体にはきつい。
食べたらおとなの分もおわせておとかたづけをする。

8:00 コーヒー農園での仕事をする。

農園で 1 日 8~10 時間ぐらい働く



コーヒーの育ち具合 (苗木を植える・育てる・収穫・収穫後) によって仕事内容が違ふ。
この様に、季節労働のため仕事がない時期は他の仕事をするか、学校に通えることもある。



収穫が少ないと 1 日 1 食しか食べられないことも

12:00 昼食準備・昼食・後かたづけ。

17:30 コーヒー農園の仕事を終え帰る。

18:30 夕食の手伝い、後かたづけ。

20:00 就寝。

子どもへの害

殺虫剤、機械との接触、刃物による傷、虫さされ、重い荷物による負担、熱中症、コーヒー粉末による疾患、長時間労働 (収穫期には 34~68 キロもの重さの袋を計量所まで運ぶ)

児童労働ってなに？

児童労働とは、働くことで、心や体が傷ついてしまうような子どもにとって害のある労働をさします。
特別な場合は別として、15歳未満の子どもが学校に通えないなど義務教育を受けられずに働いていたり、
18歳未満の子どもが法律で禁止されている危険な仕事に関わったりしていたら、それは児童労働です。

つまり児童労働は、「子どもの権利をうばう」労働ともいえるでしょう。

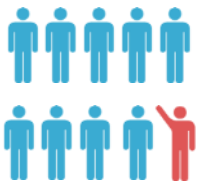
児童労働者として働く子どもは、さまざまなことをあきらめなければいけません。それは、友達と遊ぶことやスポーツ、勉強、家族と安心して過ごすこと、
休むこと、時として、家に帰ることさえも許されません。児童労働をしている子どもたちは、そうした子どもの成長にとって大切な時間を過ごすことをあきらめ、危険で体や心に害のある過酷な労働を強いられているのです。



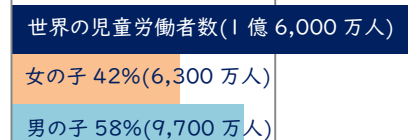
インドでレンガ作りをする児童労働者のようす。
学校には一度も行ったことがなく、借金のかたとして働かされている。

どのくらいの子どもの児童労働をしているの？

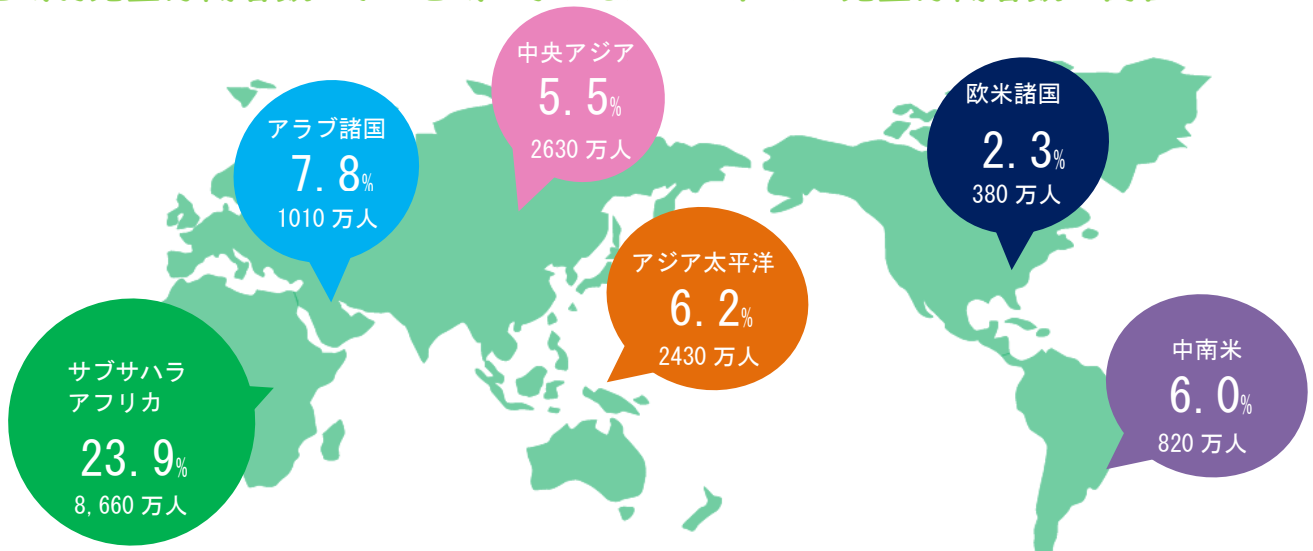
10人にひとり。 ILO (国際労働機関) とユニセフが2021年に発表した統計によると、世界では1億6,000万の子どもが、児童労働をしていると言われています。これは、世界の子どもの10人にひとりにあたる割合です。



性別でみると、60%が男の子(9,700万人)
39%が女の子(6,300万人)となっています。



地域別児童労働者数とその地域の子ども人口に占める児童労働者数の割合



出典: Child labour: Global estimates 2020, trends and the road forward

どんな仕事をしているの？

児童労働者の70%が農業の分野で働いています。農業は子どもにとって重労働で、体に負担のある危険な仕事です。炎天下のなか体に害のある農薬や肥料を使ったり、鋭い刃物で収穫作業をしたり、重たい収穫物を運んだりしなければいけません。

※残りの20%がサービス業、10%が工業で働いています。

※出典: Child labour: Global estimates 2020, trends and the road forward



児童労働ってわたしたちとどう関係しているの？

私たちの生活で食べたり使ったりしているモノはどこからきて、だれが作っているのでしょうか？ もしかしたら、外国の子どもが学校にも行けずに、過酷な環境で働いて作ったモノが商品となって日本に来ているかもしれません。

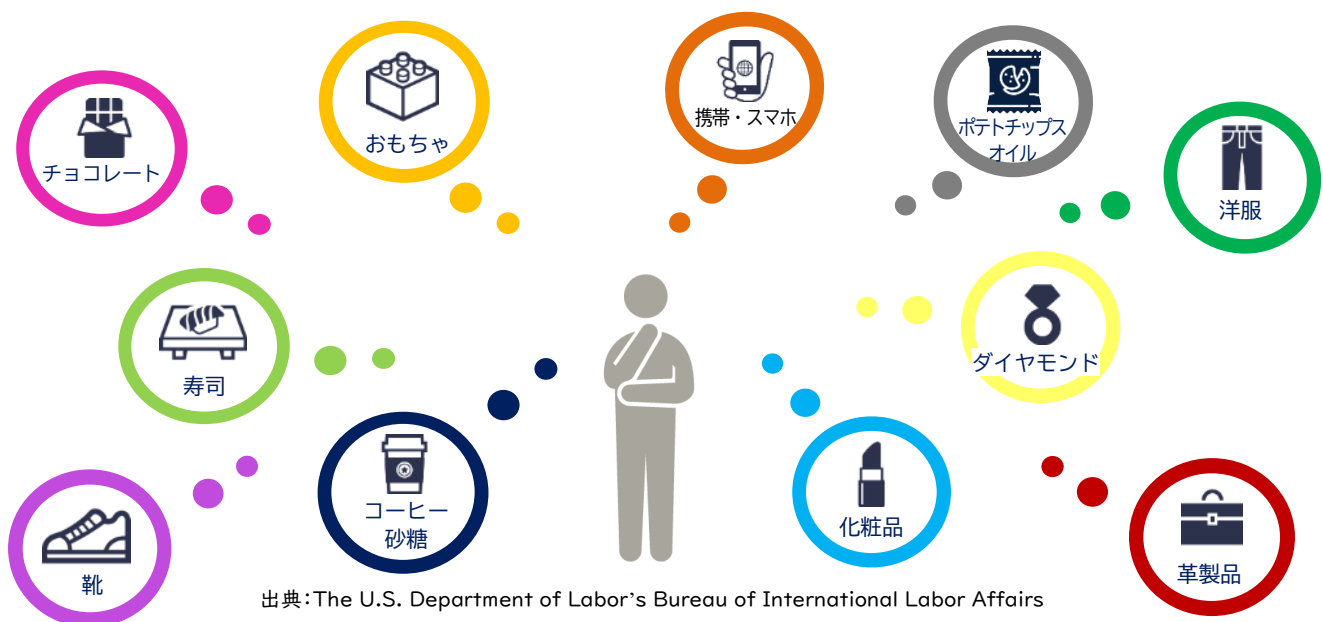


日本はおよそ60%の食糧を海外からの輸入に頼っています。

私たちは知らないうちに子どもが関わって商品化された食糧を食べているかもしれません。

考えてみよう！身のまわりにあるものはどこで、だれがつくったのかな？

私たちのまわりにあるモノは、もしかしたら児童労働によって作られたかもしれません。



出典: The U.S. Department of Labor's Bureau of International Labor Affairs

なぜ、児童労働はあるの？

いちばん げんいん ひんこん
一番の原因は「貧困」です。…しかし、それだけではありません。

でんとう しゅうかん
伝統や慣習

…社会や雇い主の「子どもは働いて家族を支えるべき」という考え方
…おとな（親など）の認識がたりないこと

ほうりつ ふじゅうぶん
法律の不十分な
施行（せこう）

…法律があっても十分に取締まりや監視が行われていないなど、機能していないこと

きょういく
教育を受けられないこと

…近くに通える学校がない、先生の不足、通学手段がない、通学費を払えない、
制服代・文房具代・昼食代を払えない、不十分なカリキュラム、親の教育への理解が不十分など

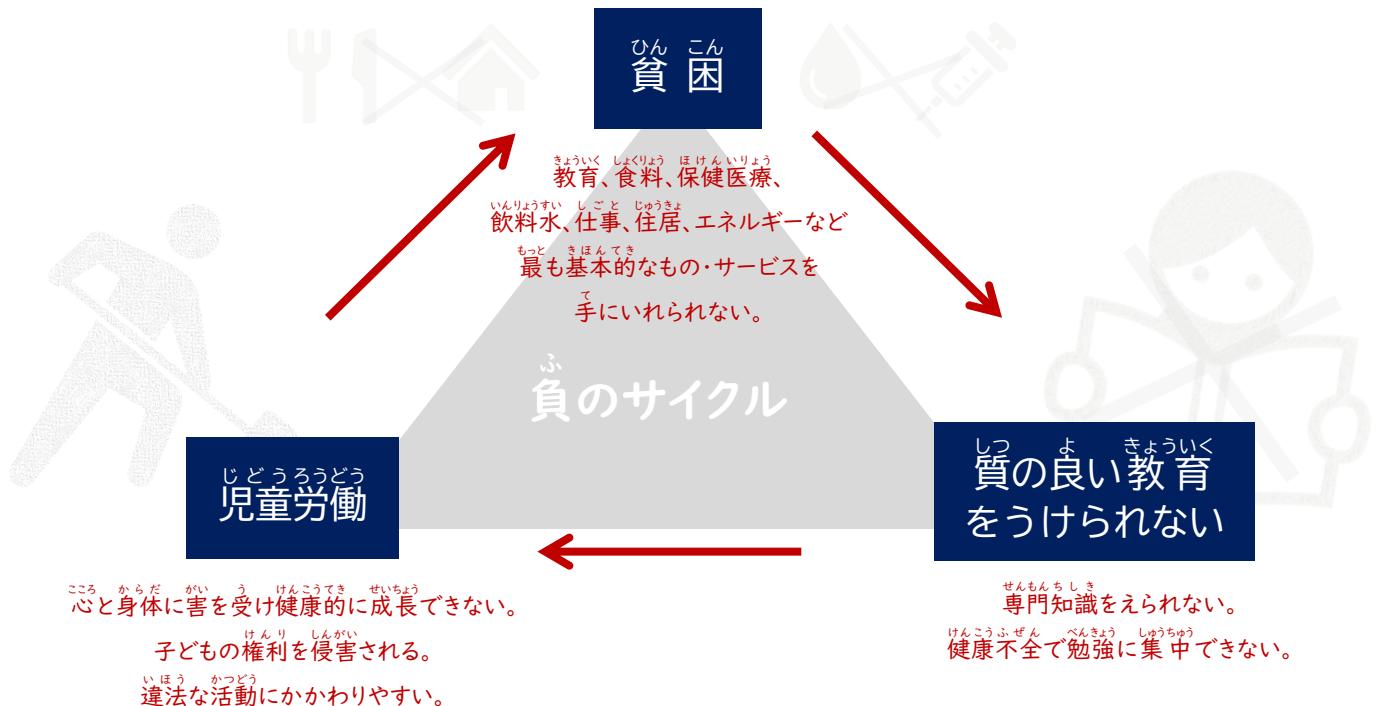
国の政情が不安定、子ども
を最優先に考えず、国の
政策が不十分

紛争や自然災害などによる社会
の混乱、親が病気やけがなどで
働けない（子ども兵士、孤児など）

差別

農村部から都市への
移住によるスラム化

そして、児童労働が貧困を生んでいるのです。



なぜ、児童労働はいけないの？

それは、「子どもの権利を奪うもの」だからです！

すべての子どもは生まれながらにして、子どもの権利をもち、一人の人間として尊重されるべき尊い存在です。子どもの権利は、世界中のすべての子どもが、健康に、自分らしく育つことを願って、1989年11月の国連総会で「子どもの権利条約」として定められたものが基本になっている権利です。



子どもの権利条約には全部で54条あり、子どもには、
「教育を受ける権利(第28条)」や、
「休んだり、遊んだりする権利(第31条)」や、
「有害な労働や搾取から守られる権利(第32条)」などが保障されるとなっています。

子どもが、子ども時代に教育を受けられず、休んだり遊んだりできずに、過酷な環境で毎日働かされたら、どんなおとなに成長するでしょうか？ ずっと毎日休みなく働かされることで、健康をそこない、字の読み書きや、計算ができないおとなになってしまいます。

もしかしたら、その子どもは、音楽の才能がある子どもかもしれません。
もしかしたら、スポーツが得意な子どもかもしれません。もしかしたら、
計算が得意だったり、絵の才能があったり、料理の才能があるかもしれません。
でも、そういった才能に気づいたり伸ばしたりすることなく、自分の得意なことに
出会った時の喜びも知らないまま、成長するのです。



児童労働は、子どもの権利を奪うだけでなく、可能性や未来をも奪うもののなのです。
児童労働は、人権侵害です。

そのため、世界中のみんなで協力して子どもを児童労働から助け出さなければいけません。



もっとくわしく子どもの権利について知ろう！

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの子どもの権利を知ろうのページ

<https://ftcj.org/we-movement/childrights>



知っていますか？

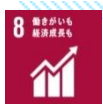
世界の貧しい国々では、およそ4分の1の
子どもが自分たちの健康に害のある仕事を
していると言われています。



児童労働に従事している子どもたち
1億6000万人のうち、
約半分の7900万人が
危険で有害な労働を強いられています。
そうした子どもたちは健康で安心な生活をおくることができていません。

児童労働に従事している子ども1億6000万人のおよそ半分は、わずか5才～11才の子どもたちです。22%にあたる3560万人が12才～14才で、21%の3500万人が15才～17才です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標8のなかのターゲット7に、

「2025年までにあらゆる形態の児童労働をなくす」

ことが盛り込まれました。このターゲットを達成するためにも、

日本は児童労働を世界からなくすために、
開発途上国への支援に加え、国内でもできることに取り組んでいくことが求められています。

経済学者ジェフリー・サックス氏の試算によれば、20年で世界の極度の貧困を終わらせるために

必要な費用は、総額で年間1,750億ドル(約20兆円)だということです。この額は、

世界で最も豊かな国々の総所得を合わせた額の1%にも及びません。つまり、本気で世界中の国々や人々が、貧困を終わらせようと協力すれば、このSDGsのゴール1の「貧困をなくそう」という

目標は達成できるのです。※極度の貧困とは・・・1日あたり1.9ドル(200円)で生活すること

クレイグ物語 (フリー・ザ・チルドレンを12歳で設立したカナダの少年)

1995年、当時12歳だったカナダ人のクレイグくんは学校に行く前にマンガを読むと新聞を手にしたところ、ある記事に目をうばわれました。



【児童労働反対をうったえ活動していたパキスタンの12歳の少年、射殺される】
記事の内容: 「とても貧しく生活が苦しかったパキスタンの少年イクバルは、両親から引き離されて4歳でじゅうたん工場に売られた。工場では毎日10時間を超える労働を強いられていたが、10歳の時になんとか工場からぬけたすことができた。その後は児童労働反対をうったえる活動家として世界中をまわっていたが、母国パキスタンに戻ったイクバルは何者かに射殺された。」



クレイグくんは、この新聞記事を読んで、同年のイクバル少年の死や、自分とのあまりに大きな生活環境の違いを知って、強いショックを受けました。世界には、たくさんの子供たちが貧しさのため、学校にも行けずに働かされていることを知り、何かせずにはいられなくなりました。



そこでクレイグくんは、「同じ子どもの問題は、自分たち子どもで取り組もう」と友達に呼びかけ、友人たちと一緒に「フリー・ザ・チルドレン(FTC)」という団体を設立し、活動を始めました。

クレイグくんたちは色々な場所へ講演に行き、「世界では2億人以上の子どもたちがつらい労働を強いられていて、しかもそのうちの半分の子どもはともて危険な環境で働かされている」という事実を必死に伝えました。



しかし、1人で電車ですら乗ったことがなかったクレイグくんにとって、働かされている子どもたちが実際にどんな生活をしていて、何を望んでいるのか、知らないことに気づきました。そこで、働く子どもたちに会いに行くため、クレイグくんは中学1年生になると、7週間の南アジアの旅に出かけたのです。

南アジアではたくさんの働く子どもに出会いました。そして帰国後は自分の体験を本にして、現地の子どもたちの声をたくさんの人に届けました。



12歳の少年が始めたフリー・ザ・チルドレンの活動は、徐々に世界中に知られていきました。活動する仲間もどんどん増えていき、現在では世界45カ国で370万人以上の子どもたちが活動する大きな団体になりました。

日本では1999年から活動が始まり、これまでに延べ2万人以上の日本の子どもたちが、さまざまな社会問題の解決をめざし、活動しています。世界により良い変化を起こすため、あなたも一緒に活動してみませんか?

もっと学ぼう! 情報リスト

ウェブサイト

- ・フリー・ザ・チルドレン・ジャパン ウェブサイト: <https://ftcj.org>
- ・ILO(国際労働機関)の「児童労働に関するデータ」:
https://www.ilo.org/ipecc/Informationresources/WCMS_797515/lang--ja/index.htm
- ・国際連合広報センター(SDGsについて): <http://www.unic.or.jp/>
- ・児童労働ネットワーク: <http://cl-net.org/>
- ・ACE(児童労働問題に取り組む NGO): <http://acejapan.org/childlabour/entrance>

動画

- ・フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの Youtube Channel



<https://www.youtube.com/user/FTCJapan>

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLCPvwVZQ-4mO7WvWqiIbQAq50mllcgG19>

おすすめ書籍



<https://ftcj.org/we-movement/books>

- ・僕たちは、自由だ! クレイグ少年の南アジア 50 日間の冒険(原題: Free The Children)(本の泉社)
- ・チャレンジ! キッズスピーチ(全3巻)(大月書店)
- ・世界を変える! みんなの力 Me to We(柏書房)
- ・読む 知る 話す ほんとうにあったお話 5年生(講談社)
- ・きみが世界を変えるなら(世界を改革した子どもたちシリーズ)(ポプラ社)
- ・イクバル 命をかけて闘った少年の夢(西村書店)
- ・ぼくが5歳の子ども兵士だったとき 内戦のコンゴで(汐文社) 等

本資料集は、「大東建託グループみらい基金」
のご支援によって作成されました。



大東建託グループ

みらい基金



FREE THE
CHILDREN

FTC チェンジメーカー教育プログラム

社会問題を学ぶためのヒント・資料集「国際問題: 児童労働」

発行: 認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン